

年報

社会福祉法人 日本ライトハウス

理事長 橋本 照夫

〒538-0042 大阪市鶴見区今津中 2-4-37

TEL 06-6961-5521 FAX 06-6968-2059

<http://www.lighthouse.or.jp/>



平成26年度 事業報告 (2014年度)

◎概 括

平成26年度は、四つの基本理念を柱に据え、事業を展開しました。

国連・障害者権利条約に基づき、「障害者虐待防止・権利擁護に関する委員会」を再編、平成25年度の「職員倫理綱領」の策定に引き続いて、日常業務遂行の指針となる「職員行動規範」を策定しました。この規範は、職員一人ひとりが拠り所として業務に取り組み、セルフチェックを行うとともに、課題や問題点を抽出し、どのように解決・改善してゆけばよいかを考え、サービスの一層の向上につなげるものです。

リハビリテーション部門では、事業全体の再編により、施設入所支援をともなう生活介護の事業が軌道に乗り、サービスの一層の向上に努めました。また、11月から「一般相談支援事業」と「特定相談支援事業」を開始したほか、大阪市の委託による「鶴見区障がい者相談支援センター」業務を平成27年4月からの3年間、引き受けることとしました。これは、鶴見区内の基幹相談支援事業所として、視覚障害だけでなく、さまざまな障害がある方々の地域生活を支える役割を法人が果たしてゆくこととなったものです。

情報文化センターでは、「情報バリアフリー推進事業」が2年目を迎え、地方公共団体や企業に対して点字・録音・電子書籍・音声解説等の公的保障の充実を積極的に働きかけました。また、文部科学省の委託により、視覚的資料の「音訳教材」のデータベース構築事業

(平成26年4月からの3年間)に取りかかりました。引き続き、高度な製版技術を駆使して、教科用図書・点字印刷などを安定的に供給したほか、視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」サポートセンターの業務を引き続き受託しました。

◎法人事業の概要

—岩橋武夫賞の授与—

アジアにおける視覚障害者福祉・教育等の貢献者に授与される岩橋武夫賞の2014年受賞者は、マレーシアのウォン・ユー・ルーン、クリスティーナ・アン・ロウ夫妻。授賞理由は、コンピュータによる点字ワークショップを長年にわたって企画・開催されているほか、若い視覚障害者の技術指導に携わり、次世代の指導者養成に献身的に尽力されてきたことで、8月にペナン島で行われたセミナーの修了式席上、夫妻に授与しました。

—第22回ライトハウス祭り—

11月8日(土)、恒例のライトハウス祭りを鶴見事業所で開催、400名を超える地域の方々が参加され、交流を深めました。

—チャリティ事業—

第32回チャリティコンサートは、例年どおり大阪城東ロータリークラブの協賛により、4月20日(日)、ヴァイオリンの和波孝禧氏、イギリスからソプラノのシャーロット・ド・ロスチャイルド氏を迎え、澤和樹氏の指揮、千里フィルハーモニア大阪の演奏により、ザ・シンフォニーホールにおいて開催し、1,067名の方々が来場されました。

当日の会場募金およびチケット売上げによる収益の一部は、盲導犬育成支援に充てられました。

—研修・交流・広報事業ほか—

- ・3月16日～19日には、シロアム福祉会から3名が訪日し、施設等を見学されました。
 - ・法人監事・灯友会副会長の田中成人氏が逝去され、監事として新たに田中祥宏氏が就任され、灯友会副会長には、新たに有山茂氏が就任されました。
 - ・新聞や放送・出版関係、大学の調査研究や博物館の特別展示、企業の社史編纂などにも法人が所蔵している文献や写真などの資料を提供したほか、番組の取材も受けました。
 - ・引き続き、日本盲人福祉委員会、日本盲人社会福祉施設協議会等の関係団体の役員として法人職員が就任し、協力を行いました。
 - ・引き続き、大阪市・大阪府の公立小学校を中心に、幼稚園から高等学校までの要請に基づいて講師を派遣し、盲導犬啓発活動を行いました。また、企業や公共交通機関等の社員研修で手引きの方法等の実習を担当したほか、視覚障害関係機関からの要請に応じ、ガイドヘルパー養成研修等に講師を派遣しました。
 - ・例年どおり、職員人権啓発研修会を2回実施したほか、職員全体会、役職者の業務研修等を行いました。
- ◀募金事業に関しては、別冊の『FORWARD』をご覧ください▶

◎さまざまなサービスの展開

障害者支援施設日本ライトハウスきらきらでは、重度重複の障害がある方を対象とした施設入所支援をともなう生活介護の事業がようやく軌道に乗りました。当初定員8名を年度末には11名に増員、職員一丸となって一層のサービスの向上に取り組んでいます。

居宅支援センターてくてくでは、11月から「一般相談支援事業」「特定相談支援事業」を開始したほか、大阪市の委託により平成27年4月からの3年間、「鶴見区障がい者相談支援センター」の業務を引き受けることとし、鶴見区内の基幹相談支援事業所として、地域生活を支える役割を果たしてゆくこととなりました。

◎海外との交流

盲導犬訓練部では、世界盲導犬学校連盟のセミナーやAGBN(Asia guide Dog Breeding Network)の繁殖ワークショップに職員を研修として派遣し、盲導犬育成に関する情報交換や繁殖にかかわる協力体制の構築を行いました。

◎寄贈・助成による機器整備ほか

引き続き、気鋭のヴァイオリニスト・川島成道氏のご寄贈により最新の訓練用機器4台を整備したほか、大阪鶴見ライオンズクラブのご寄贈によりパソコンを4台、立川福祉基金のご助成により居室・教室のカーテンを整備、また、イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」により掃除機5台を配備することができました。ほか、多くのご助成を受けて事業を進められたことに対して、厚くお礼申し上げます。

大阪市鶴見区との間で平成25年度に締結した災害時の福祉避難所開設のための訓練を行い、関係機関と課題を共有しました。

1. 日本ライトハウスきらきら

日中活動サービスの内訳は、生活介

護(当初8→年度末11名:登録8→11名)、自立訓練(機能訓練)(20名:登録31名)、就労移行支援(6名:登録5名)、施設入所支援(30名:登録21名)で、進路の内訳は、復職・就職5名、職業訓練校等進学5名、わくわく利用8名、家庭復帰10名、他施設・事業所4名、その他1名でした。

きらきらの修了後、居宅支援サービスや行政機関等との連携を深め、安定した居宅生活を開始できるよう、幅広い支援を行いました。

2. 日本ライトハウスわくわく

引き続き、障害者自立支援法に基づく事業所として、創作活動・生産活動・各種技術訓練(歩行・点字・情報機器・日常)、スポーツ・レクリエーション活動を四つの柱とする期限の定めのない生活介護サービスを提供しました。年度当初の登録は106名、きらきら修了者の受入れや利用修了等差引きで、年度末の登録者数は103名、年間の平均利用者数は40.1名、稼働率は103.3%でした。

JR放出駅と施設との送迎サービスは、延べ4,036名の利用でした。

3. 職業訓練部

17名の在籍者に職業訓練プログラムを提供し、16名が修了・中退(就職9名、求職中7名)しました。引き続き、就職した修了者の体験を聞く会を開催したほか、復職を希望するきらきらの就労移行支援利用者の支援、大阪市短期委託訓練等も実施しました。

4. 盲導犬訓練部

パピーウォーカー宅へ66頭の飼育委託を行いました。アジア各国の盲導犬協会との間で繁殖に関する協力を進めるなど、雄犬12頭、雌犬27頭の繁殖犬を確保しました。

(盲導犬貸与 24名 22頭)

5. 盲人ホーム(理療実技指導部門)

引き続き理療免許を所持する利用者の技術向上と総合的な資質向上に力を

入れて取り組んでいます。(利用者4名、継続4名)

6. 居宅支援センターてくてく

障害者総合支援法の「居宅介護・重度訪問介護」、「移動支援」、「同行援護」、「一般相談支援」、「特定相談支援」の各事業(利用登録延べ69名)、介護保険法の「居宅介護支援」、「訪問介護・介護予防訪問介護」の各事業(利用登録延べ19名)を実施しました。登録ヘルパー:51名。

7. 養成部(指導者養成部門)

○厚生労働省委託 第44期視覚障害生活訓練等指導者養成課程

1年基礎Ⅰ 15名、1年基礎Ⅱ 4名

2年実習 1名、2年応用 3名

○日本眼科医会共催

医療関係者視障リハ研修会 9名

○文部科学省・全国盲学校長会後援

教育関係者視障リハ研修会 10名

○日本盲人社会福祉施設協議会后援

視障リハ基礎講習会(2回) 40名

○在宅訪問指導:奈良県:104回、和歌山県:258回、宝塚市:73回

8. 相談室

電話相談:229件、来所相談:93件

9. その他事業

・修了された方々に『ライトハウス通信』を点字・大活字・メール版により2回発行しました。

・広報誌『ぴっかぴか』を2回発行、地域の福祉・医療・各種相談支援団体等にお配りしました。

・登録ボランティアは、121名にのぼり、延べ578件の活動にご協力いただいたほか、企業ボランティアの方々からもご奉仕いただきました。感謝申し上げます。『ボランティアだより』を2回発行しました。

・学校や国内外の関係機関等からの依頼により、引き続き研修生・実習生を多数受け入れたほか、講習会等に職員を講師として派遣しました。

◎サービスの拡充をめざして

平成26年1月、国連障害者権利条約が公布され、情報アクセスに困難のある人々が、多様な媒体・手段を選んで情報を利用できる社会をつくることが定められたほか、視覚・読書障害者の出版物へのアクセスを促進するための「マラケシュ条約」の批准に向けて、著作権法改定の検討が行われており、目の不自由な方々、読書に障害がある方々に対する情報保障は一段と進みつつあります。

西事業所では、多媒体での製作を行い、多様なニーズに応え、広範囲できめ細かなサービスの提供に努めました。また、2年目となる「情報バリアフリー推進事業」に力を入れ、公共団体や企業による点字・録音・電子書籍・音声解説等の製作・提供の拡大に取り組んだほか、文部科学省の委託による「音訳教材」の研究事業を新たに受託し、視覚的資料の音訳教材データベース構築事業に着手しました。

引き続き、東事業所を中心とした点字・デージー等出版事業の維持・発展に努めました。早川福祉会館点字図書室の運營業務受託は、1年の特命契約を締結、デージー図書の一層の浸透を図りました。

1. 点字・録音図書の製作・受入

(単位：タイトル数)

種別	点字図書	録音図書
製作図書	255	249
委託配布図書	28	34
寄託・その他	10	82
購入図書	5	6
蔵書累計	9,474	15,011
(冊／巻数)	36,746	33,369

2. 図書館サービスの利用状況

(1) 図書館利用者数

大阪市：1,811名 大阪府：1,593名
他府県：1,249名 合計：4,653名

(2) サービス利用の状況

[貸出サービス] 点字図書 11,264冊、
テープ図書 4,869巻(図書 4,215、
雑誌 654)、デージー図書 63,953枚
(図書 54,785、雑誌 9,168)
[対面リーディング] 999件 2,018時間
[プライベート製作] 点字 162件、音
声 75件、テキストデータ 20件

3. 機器・用具サービス

引き続き、用具・機器展示・販売、パソコン指導などを行ったほか、訪問利用支援サービスも実施しました。サービスフロア入室：4,869名、問合せ：2,918件、訪問支援：11件、個人講習：513件。

4. ネットワーク利用支援サービス

視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」のサービスを引き続き受託し、全国の個人会員や施設会員に対して、インターネットによる図書情報等の利用の普及に努めました。年度末登録数：個人会員13,446名、施設会員291団体。

5. 多数複製点字製作提供事業

(1) 支援学校等向け点字教科用図書製作

視覚障害児童・生徒・学生向けの教材の点字データを製作し、小学部15点33巻、中学部9点33巻、高等部普通科30点213巻、理療科19点76巻の教科用図書を点字・拡大・デージー版で発行、安定的に供給しました。

(2) 厚生労働省委託図書貸出配布事業

点字製版 19タイトル・2,920冊、CD製作 14タイトル・1,022枚、デージー 31タイトル・1,365枚、マルチメディアデージー 8タイトル・520枚

(3) メディア製作センター事業

国立国会図書館による「学術文献録音図書製作作業」を引き続き受託、また、音声だけで映画を楽しむことができる「シネマ・デージー」製作、テレビ番組の音声解説付与などの事業を展開したほか、マルチメディアデージーの製作に努め、文字の認識や理解が困難な「読書障害」の方々への情報提供にも取り組みました。

(4) 各種委託製作他

大阪市・和歌山市等、自治体発行の点字版広報誌の製作を受託しました。また、行政・教育機関等からの依頼による点字印刷・点訳物・点字サイン(プレート類)等を製作・配布しました。

(5) 教材等個別製作

教育委員会や学校の依頼に応えた教材や試験の点訳・墨字訳を受託しました。小学校：8校40件、中学校：5校26件、大学：5校105件、自治体等：20団体85件。

6. 国際協力事業

広げよう愛の輪運動基金のダスキーン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業に引き続き協力し、ラオスの視覚障害青年の研修を行いました。

7. ボランティア・広報事業ほか

西事業所登録ボランティア：620名。
点訳等の講習会を開催したほか、各種講習会等にも講師を派遣しました。
毎月の施設見学会等で98名の方、グループ・団体の個別見学では、20団体、155名の方に施設をご案内しました。

8. 各種情報の提供

視覚障害者情報誌『読書』を年11回、ボランティア向け情報誌『ONE BOOK ONE LIFE』を年11回、専門情報誌『対面リーディング通信』を年6回、『らくおん通信』を年6回、『点訳通信』を年4回、それぞれ発行しました。

9. 早川福祉会館点字図書室

利用登録数：1,037名 ボランティア登録数：360名(音訳190名、点訳170名)

(1) 製作・貸出実績(単位：タイトル数)

種別	製作	貸出
デージー図書	130	45,437
テープ図書	98	5,028
点訳	120	1,736
点字打出し	—	1,926

(2) その他サービス実績

プライベートサービス	705件
対面読書サービス	123件